





# Ração Cargill

## CRECE-AVES-RAÇÕES LTDA

Rua Presidente Vargas 341  
BASTOS S.P.



販売配給倉庫を設けました

養鶏家各位の御愛顧を

御願いたしました

優秀品質のニトリヨ種子の

予約注文引受けます

プレシテンテヴァルガス街 三三四一番地

### 桑原 山内共営

販売員参上の節は何卒宜しく御引見の程を

お願い致します。

に二週間前に、スール、ブラジル組合、バスト支店長水野幸作氏を通じて二、三六〇コントス届いて居る。

サンパウロの方々が奮発して下さったのにはバストス内で同額集めればよいというのは虫がよすぎる。

○では、いくらか集めればよいのだ。さあ、およそ六千コントスを目標としたい

興議なし、で金額は決ったものの、もし足りない時はどうする。企画より多く集れば、それに越したことはないが、足りないとときは委員が出すさ。まあ、とにかく出発してみないことには見当がつかない。見当もつかないのに、一万コントの碑を作るわけにはいくまい。そこで、なるべく早く、募金成績を予知する必要

がある、ということになる。

○誠にもき出しで恐縮ではあるが、霜出老の知人の方は勿論大奮発を願いたい

が、墓地を美化してくれたいことに愉快と感ずるお方達も、どうか御協力をお願いするものである。

○、会計は杉山さん

○故霜出さんと一しょに仕事をしてお下さった人、杉山さんに会計の役を引受け

てもらったことは、関係者としては有意義だと思っ

○各区長さん、その他自発的に寄附に

応じて下さる方は、杉山寅蔵氏へ金額をお渡し願いたい。いずれ決算報告の時、御芳名を記載して改めて御礼申上げることにする。

尚、杉山さんは、墓地美化運動の時も会計を受け持った方で、奇しくも相棒の碑建立に再び会計を勤めて下さることに

なった。

○言いたくない話だが、(日限のこと)

○募金までお願いして各区長さんには誠に言いたくない話だが、前述の事情をお汲み取り下さって、なるべく六月中旬に杉山さんまで御連絡下さるようお願い申上げる。

○除幕式のこと

いよいよ碑が出来上って、除幕式となる。いつの頃がよろしいか、入植祭は、かえってごたごたと賑わってよくない。ブラジルのお盆はどうかということになった。

十一月一日か、二日である。一日は諸

聖人の日、二日は死者の日とた、ていて

二日の方が人出が多いから、二日にしようということにした。

以上委員会できま、たことを詳述したわけだが、文意不十分の点もあり、御判

蘭を願う次第である。

### 霜出 随想

故霜出老が、杉山氏を相棒として、バスと墓地美化を計画し、完成したこと、それが、それ程立派なことだろうか？といふヤシ(?)があつた。ヤシだから黙殺して、つくりすことを美とする者々の常識では、霜出老の墓地ぐらい立派で、すつきりした事業は、当分あまり思當らないと思つた。霜出老という人物は、普通人とちがつた神経の持主で、味方にする百人が、敵に廻すと、二百人になる男だつた。つまり、悪を思ふ、善を最善とする明治男、浪花節的な美野人情の性格だつた。金銭には淡泊で、人の銭は彼の銭といつた割り切り方で、私財を蓄えることの下手で、且つ不可能な男だつた。農産物の豊饒を考ふるなら、先ず道路を完全にせよ。橋梁を堅固にせよと、プレフェイスと並みであつて、そのためには、自分の住んでゐる区の道路はカマゴコなりに、いつも整備しておかないと、気がすまらず、他区から要請があればテクシにのつて架橋助勢にも行く人だつた。又、バスとスの将来に備えてユカリブトの植林を説き、且つ実施したのも農村立国の達識者だといつてよかつた。

霜出老の粘りの強さも尋常ではなかつた。自からガラフアにピンガを詰め、嫁を貰いに行く、と、呉れる、うまで三日も粘つたという。勿論嫁入りしてからの粘りだが、こうと思つたらやり通す強靱な意志と神経があつた。

彼の悲願は、バスとスの墓地を大都市並みに立派にしたいことだつた。経済事情の悪かつた時代でもあつて、墓地内にはこれほどという墓碑は数える程しかなく、葬送当時の十字架と、市役所発給の番号と、標のみ散乱して、荒冷たるものだつた。市の財政乏しかつた時代、墓地までには手が届かなくなつたのであろう。霜出老は、一念発起して、これが俺の最後の御奉公と考へたのだつた。詳しいことは前記したから、除くが、誰か草花々の地に自分の遺体を埋めたいものか。美しい、楽しい音楽でも聞きたいものか。永遠のカーマに眠りたいものか。人情というものである。その盲点というか、機微を掴んだのが、霜出老の演出となつたのであつた。

その着眼点だけでも彼の頭脳の並々ならぬことを物語つてゐると思つた。そして、その発案を実行に移行に移し、貧乏を貧においたような生計の中で立ち上つたこと、が、何とも云えぬ快味を発散させるのである。「男子志を立ててバスとスに出す、財もし成らずんば墓碑を残さんのみ

御 礼

シヨビ 仙次郎畑中学校世話人

堀原 義一

吉田 与三吉

京野 万次郎

吉田 多作

吉浦 秀次郎

コブラル夜間英語学校の雑費入用に  
つぎ、御無礼を願ひましたところ、  
左の方々より御寄附をいただきましたま  
た、ありがたく御礼申し上げます。

金五〇〇〇〇 プラ柘袋系株式会社様

金四〇〇〇〇 南米銀行バスとス支店様

金三〇〇〇〇 バスとスバス  
商工株式会社様

金一五〇〇〇 マンダバスとス  
農産組合様

金一五〇〇〇 バスとス養鳥組合様

金一五〇〇〇 バスとス産業組合様

金一〇〇〇〇 京野 万次郎様

金五〇〇〇〇 織田 守男様

金三〇〇〇〇 コチア産組バスとス倉庫様

金三〇〇〇〇 コチア産組バスとス倉庫様

金二〇〇〇〇 バスとスデイランテス  
コメルシオ様

金二〇〇〇〇 バスとスデイランテス  
コメルシオ様

金二〇〇〇〇 バスとスデイランテス  
コメルシオ様

金二〇〇〇〇 バスとスデイランテス  
コメルシオ様

金二〇〇〇〇 バスとスデイランテス  
コメルシオ様

金二〇〇〇〇 バスとスデイランテス  
コメルシオ様

金二〇〇〇〇 バスとスデイランテス  
コメルシオ様

糸 音

第二十六回バストスゴルフ大会成績表  
五月二十日

男子の部	AUTO	IN	GROS	H.C	NETO
1 堂前武雄	43	42	85	28	57
2 竹原 穂	40	45	85	21	64
3 照井克己	46	50	96	30	66
4 谷口英治	50	48	98	30	68
5 大野ウーゴ	48	50	98	30	68
6 浅川 龍	42	43	85	16	69
7 鶴 一男	52	57	109	40	69
8 吉川次夫	50	46	96	26	70
9 谷口嘉平	46	64	100	30	70
10 東 幸男	43	44	87	16	71

グロス賞 竹原 穂

女子の部	AUTO	IN	GROS	H.C	NETO
1 浅川春江	54	53	107	36	71
2 森下喜久子	52	56	108	36	72
3 谷口ツネ子	53	50	103	30	73
4 東美代子	45	48	93	19	74
5 池田貞子	52	50	102	26	74
6 前アサ子	50	52	102	28	74
7 吉浦みさ江	58	54	112	35	77
8 石橋か子	56	50	106	27	79
9 吉浦イネ子	55	54	109	26	83
10 西 紀代子	66	59	125	36	89

御 礼

去る五月二十日バストスゴルフ大会当日の諸氏より物品寄贈していただき、ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

バストス ゴルフ倶楽部

柴田時計店様より、新人賞タツサ三個、吉浦恒喜様より、鉛筆ケズリ機一台、吉川次夫様より、イークル記念として、ガスフオゴン一台、去る四月二十一日、二十二日両日サンパウロ、アルシマ、ゴルフ倶楽部員、ハトス、ゴルフ倶楽部員、両軍親睦ゴルフ会を催しました。左の諸氏より沢山物品を寄贈して頂きました。有難く御申し上げます。

(賞品) 水野幸作様、水馬久様、鶴博幸様、森下美春様、柴田高見様、日伯毎日新聞社様よりトロフィー二個、バストス郡体育局様よりトロフィー三個。

御 礼

私儀、三重県留学生として昨年七月より、当年五月迄約九か月訪日いたして居りました。ようやく学業を終え、去る五月十日帰伯いたしました。留守中父の長逝を知りましたが、事情やむを得ず、予定通り行動を致しました。その節は皆様の御手厚き御配慮と御厚情を賜わり、まことにありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

尚此の後は、父の家業をつぎ、これまで通り営業致します。故、何卒よろしく御願ひ申し上げます。  
右御あいさつまで、  
五月二十八日

石橋道之進

各 位

御 礼

去る五月二十六日、私方未女、ユード愛子が結婚することになりましたので、グロリア2区女子青年団の御方たちは、五月十九日会館にて御別れの宴を御催し下され、その上沢山のお祝いをいただきました。尚、二十六日には、多くのお友達の方方には総員、ビルア二台にて、マリノガまで御送り下さいました。何と御礼申し上げます。御父母様方にも厚く御礼申し上げます。五月三十日 茂庭憲亮

大野英雄様より鯉三十五キ口、本田鮮魚店様よりカマボコ沢山、西 徹様より柿沢山、バウル吉浦農場様よりみかん沢山、宇佐見食堂様より一金百クルセイロス、バストス ゴルフ倶楽部

# 恍惚の人 (7)

光子が、ぞっと訊いた。  
 「このお坊さん、あなたが呼んだの？」  
 「門谷さんのお婆さんが呼んで下さったのよ」

「お布施のことは、訊いた？」  
 「聞いてない」

「あのお婆さんがどう？」  
 「肥子が青くと、光子はさつと傍によつていって、何事かささやき、返事に肯いて、戻ってくると昭子の兄に相談して、母屋の方へ行ってしまった。お坊さんを呼ぶのも金がかかるという事実を、昭子はぼんやり考えていた。光子が来てくると、本当に助った。」

昭子の兄が、信利にこういつているのが聞こえた。  
 「お互いに、親を見送る節になつたことですよ」  
 「まあ、あんなことを言つて、と昭子は思った。昭子たちの場合は父親を幼いときに失つていたので、母親が死ぬばそれと終つていたが、この家にはまだ茂造が残っている。あんな大声で、茂造の耳に入つたら、あとでどんな皮肉を言われるかと、昭子は心配になつた。あわてて男

の方を見たが、茂造は聞こえたのかどうか、最前と同じ姿勢で、それを見ると僧を見守つていたので、信利に促されて焼香するとさきも、無表情だった。  
 光子が、コツブを沢山盆にのせて戻ってきた。昭子の兄が一升燵の栓を抜いて、それを注ぎ、まず坊さんにすすめた。それができずか、お寒いですが、お暇から手が出る程頂きたいのですが、若い僧は屈託のない顔でどう断りを言

## 営業案内

法律(民法・刑法・労働法)

シンジケート顧問弁護士

会計事務

デスバシアンテ

保険(生命保険・自動車保険)

農業保険・その他)

外国人登録の一切

帰化手続・身分証明

所得税申告

諸申請手続一切

フレンテンテヴァルガス街一八九

## 法律会計事務所

DR 一石川 雅宏

TEL. 11-8053  
 TEL. 11-8055

「失礼ですが、お住持さんですか」  
 「はあ、親爺はおりますんですが隠居しておりますんで、僕が廻つています。若いものですから皆さんから小僧扱いをされます。これも妻さんがあるんです。坊主頭だと、もつと若く見られるんです。髭でも生やそうかと思つてゐるんですが、ヒツビに見えてもまずいので」  
 「お若いのに親孝行ですね。お父さんが隠居でさるといふのは」  
 「実のところ、全身不慮なんです。もう三年になりまして、寂たきりで、看護婦をつけて、ずつと流動食です。坊主の修業してはいるが、よほど業が深いのでしよう。みつともないから隠居と言つてはいますが、こうして亡くなられた人を見るに羨しいですよ。親不孝を言うようですが、親爺もきつと羨ましいと思つてゐるだろうと思つてますよ。僕の親爺のようになると長生きも楽じゃありませんよ。医者にはあと十年は確実に保つと言つてますがね」  
 「お幾つですか」  
 「七十九歳です」  
 「お喋りな坊さんで、自分でも言つていたように酒好きらしく、コツブ酒を横目でちらちら眺めながら、中風患者聞する近頃の医学の驚異的な発達について一しきり話をした。光子が金包みと意しきものを、光子の夫に言われて一分燵を添えて渡すと、住職はきちんと頭を下げて受取り、ゴム長靴をはいて外に出たが、彼は国産の小型車に乗り込み、葬式の日取と時間にはきまり次第すぐ知らせて下さいと窓越しに言い、降る雪の中を走り去った。お坊さんがマイカ一族だなんて思わなかつたわ」  
 「景気のいいお寺なんじゃ、境内にマンションが何軒建てるのよ、さつとコクリ美容院からは三人の美容師が、やはり白菊の花束をかかえて来て、あんなにお元気だったのに、ねえ」  
 「いつもとちっとも変うな、たんですよ」  
 「でもさあ、そう言えはつてことも言つ

「たわねえ」  
「若い娘が口を滑らせたので、昭子が問

い糺すと、

「髪結いさんへ来たときだけ息がつける

って、ええ、こちらのお婆さんは美容院

なんて言わないの。いつも髪結いさんご

「髪を洗うときは特別熱いお湯でって、

いつもどついうんだけど、今日はああい

い気持だ、極楽へ行くみたいだ、って、何

度も何度言ってますか」

「ドライヤーに入ってるときも、なんだ

かよく喋ってたわね」

「何かいいことがあるみたい、って私が言

ったら、ええ、ええ、そうなんですよ、

て言、って笑ってたわね」

「若い娘たちは敬語を使わずに話すので

、連れて来た美容院の主は気をつかって

「お髪が乱れていたらお直ししようと思

つて用意してきたんです、綺麗です

ね」と言った。

「ええ、お蔭さまで、最後の身だしなみ

こしていただいたことになりましたね。艶々して

いるし」

「こちらの御隠居さまは猫っ毛でしたか

らねえ。白髪も癖がつけやすくて、そ

れにも毛も多い方でしたから、セットする

にもやりよかったですよ。まめに手入

れにいらしてましたわねえ」

光子が稲荷熊を配っていたが、美容師

たちは食物には手をつけず、線香を立て

て、そとくさと帰って行ってしまった。

光子が昭子たちに、ここは私にまかせ

て食事をするようにすすめたので、信利

と敏と三人で母屋に帰った。実の多い味

噌汁が出来上っていた。

信利も敏も、空腹だったのか、最初の

一膳を黙々と食べ、味噌汁を音立てて啜

った。敏が、途中で顔を上げて言った。

「お爺ちゃん、飯、いいの？」

「それがねえ」

昭子は夫に向って、茂造が芋と人参の

煮たのをあらかた食べてしまっているこ

とを告げた。信利は知っていたから黙っ

て聞いていた。

「あれだけ全部食べたのかしら、一人で

。ちよっと信じられないんだけど」

「うん」

「もしそうだったら、きっとお腹こわす

# 入植祭の

# 演芸申込み

メ切、六月三十日まで

本年度演芸会に出場して  
下さる方は、左記へ願

い  
上げます

小茂田商店

永吉商店

題名  
出場者名  
出演時間

の葉、葉を摺り鉢でおろしてガーゼで青

汁をしぼり出すのであった。姑が亡くな

った今は、昭子にその役目がまわって来

るのかと思うと暗澹たる思いがする。

箸を置いてから信利がぼそつと言った。

「俺、親爺の方が先きに逝くものとはか

り思っていたよ」

「まあ、あなた、そんなこと仰言るもの

じやないわ」

敏の手前、昭子は夫をたしなめたが、

まるで同じことを夫も考えていたのかと

、同じように海息が出た。

光子が顔を出した。

「こ見なさい、昭子さん、お姑さんのお

茶碗どれか分かる？」

「ええ、わかります」

「近所のお婆さんが御飯御飯ってうるさ

いもんだから」

「あら、お稲荷さんじゃいけなかつたの

かしら？」

「そうじゃないの、仏さまの御飯よ」

姑が日常使っていた飯碗に、白い飯を

山盛りで固く盛りつけ、姑の箸を二本真

直ぐに差しつけて枕元に置くと、門谷家のお

婆さんが、やっと思嫌を直した。近所のお

人々の顔が随分ふえていろ。コップ酒は

通夜につきものかどうか、一升壺が殖え

ているのは、誰かがまた持って来てくれ

たのだろう。次号へ(著者 有吉佐和子

# A V I S O

Pelo presente edital ficam todos os associados deste Sindicato, quites e em pleno gozo dos seus direitos sindicais, convocados para Assembleia Geral Ordinaria a realizar se no dia 08 de Junho de 1973, as 11.00 (onze) horas (2ª convocação, na sede da Associação Rural Nipo-Brasileira de Bastos, a Rua Oswaldo Cruz, 5/ª, nesta cidade, com a seguinte ordem do dia:

- a) Leitura, discussão e votação da ata da assembleia anterior;
- a) Leitura, discussão e votação do Balanço e Relatório da diretoria e parecer do Conselho Fiscal referentes ao exercício de 1972;
- C) Letura, discussão e votação da proposta Orçamentária para o exercício de 1974 e respectivo parecer do conselho fiscal

Bastos, 23 de maio de 1973  
as) Tohoru Nishi-Presidente

バストス農村シンジカット

通常総会開催御案内

貴家益々御清栄の事と拝察申し上げます。  
扱て、本年度の通常総会を労働者協会の法規に基づいて左記の如く開催致します。尚、萬障御都合の上御出席下さじ。

期日 一九七三年、六月九日(土)午前十一時(第二回招集)

場所 バストス日伯文化協会総合会館

議題

一、一九七二年度事業報告並びに決算報告

一、一九七四年度予算案検討

一、その他の件

各会員御自身のシンジカットでありますので、一名のものを

なく御参集下さるよう、御案内申し上げます。

一九七三年 五月二十三日

バストス農村シンジカット

会 員 各 位

会 長 西

徹

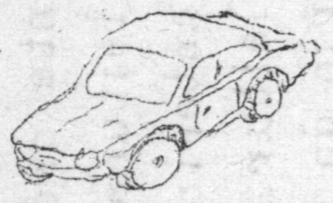
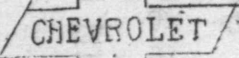
# 日本のピアダ

リノリス市 高橋 鏤 骨

もう十何年前かと思うが、バスト入週報に藤原荒次郎さんのY談記が二回に亘つ掲載され、多くの読者を喜ばせた事がある。又、十三年前に私が訪日した時見聞した日本の姿を「浦島物語」と題して、此れも二回だったか、週報に掲載された事があるが、余り赤裸々に書きなぐったので、

「週報の愛読者で日本語の勉強をして二世のお嬢さんが読むので、少し加減して欲しい」と注意されたことがあった。荒さんのY談記は、内容は、私の書いたものよりややひどい様だったが、荒さんにはなかなかながらの方面の懸念がたくみに使っていたので、糸音さんからお注意は受けなかったらしい。何れともあれ、私達恍惚に入ろうとする年齢の者らにとつては鹿角らしい難解な読物よりは、軽い笑を誘うような読物マ、Y談などで余生を楽しまうというのには、只私だけではないように想われる。新聞などでも近頃よくREXを取扱った記事や、寄稿家の文章など見受けられるようになった。たとえば、バ紙のボテコ欄

## MARVEL-MARILIA VEICULOS LTDA



### シブロー

あなたの中古車を  
イボと取り替えましょう

### シエヴェツテ

(CHEVETTE)  
が登場いたしました

オパラ(高級車)カミニオネット  
カミニオン・シエヴェツテ

毎水曜日にパール柳浦に  
出張致して居ります

瀬尾清

何卒御相談下さい  
訂正(本曜日の出張は誤りでした。水曜日と訂正致します)

や、日毎紙などの寄稿たちの文章にも、  
そうしたものが見出される。

さて、下手な長口上は此れ位にして置いて文文に入ろうとするのだが、題して日本のピアダ二題を御紹介しよう。日本の農村では、秋の収穫が済むと、どこの農家でも定まったように冬仕度に取りかかる。

そして、先ず布団の洗濯し、修理したり、惑は新調に取組むのである。自家で出来ない場合は、いつもの顔なじみの洗濯婆さんを雇うのが常とされている。

ここに登場するピアダの主人公もその一人で、五十歳の後家さんと思つて貰いたい。秋の長閑な陽射を浴びて、西に面した縁側に陣取り、布団の調製に精出してゐる。

そこへ農家を目当に行商して歩く中年の男が来た。後家さんは年齢に似合わぬい豊艶な体の特主で、しかも片膝立てた股間にはパンツを使用しなかつた昔の事とて、奥の院までまる見えである。

そこで長くSEXに飢えた商人を後家さんとの間に謎めいた話のやりとりが始まるのである。

ここで、ちよつと断つて置くが、信州といつても周知の様に割合に大きな県で、東信、北信、南信というように大別されておられる。商人は高売柄標準語であるが、後家さんは南信方面で使われる方言のナイナイ言葉で応酬するのである。

商人「黒いねえ」後家「お歯黒染だでナイ」(お歯黒染だからねえの意)  
商人「大きいねえ」後家「布団織だでない」(布団織ですからねえの意)この外意味深長の二、三の問答があつたと思

うが、何しろ五、六十年前の事で、忘れ了つた。

商人が胸に一物あつて引き出そうとする話題にも忘ぜず、後家さんに軽くなされた恰好で、商人は凄々と退散したという、昔のピアダである。

それから、ついでにもう一つ。  
明治から大正にかけての農家の若者の服装は、股引に草鞋がけ、少し後になつて地下足袋といふたいでだちだ。夏の日、一人の若者は野良でオマツ頃まで働き、ひどく疲れたので、家に帰つてゴロンと横になつたと思つたら、

すぐ針を立てて深い眠りに落ちた。股引は付立てが上手なら決してそのようたことはないのだが、この若者の股引は不出来だと見えて、股がうまく合わぬらしい。只上の方で両方に縫いつけた紐で結んであるだけだ。疲れて両足を広げて寝ている若者の股間の逸物が見出し



若者は勿論それに気がつく筈はかく、眼りこけている。  
 ところが、其の辺で遊んでいた仔猫の目に止った。子猫はやわらわその突起物の側えしのび寄ると、両手を左右に手玉をとり始めた。若者達物は、最初は普通をよそおっていたが、度び重なる猫の手玉に刺戟を覚え、勃起した。  
 と、猫はクお敵ごんなれ、とばかり、一旦後ずさりしたかと思つと、猛然と突撃して其の突起物に襲いかかり、猫の爪をかけるのと同時だった。  
 若者は驚きと共に、猫の急襲に悲鳴をあげたのはいう道もない。

### ゴルフ新人大会開催

来る六月十日十二時よりゴルフ新人大会を催します。  
 賞品が沢山ありますから、大勢参加して下さい。  
 去る五月二十日は多数の御参加がありました。盛大に行われました。厚く御礼申し上げますと共に、みなさんの御参加をお待ちして居ります。  
 バストス ゴルフ倶楽部

### 新人ゴルフ大会

期日 六月十日(第二日曜日)  
 (十二時より開催)

先月五月二十日にはじめて新人ゴルフ大会を催した処、多数の方が御参加になりました。盛大だったので、つづいて(第二回)を催すことになりました。  
 はじめの方にも歓迎いたします。賞品が沢山ございますので、是非御参加下さい。

FABRICA de GRANITO  
 Av. Rio Branco No. C. Postal; 23 Fone 515  
 Adamantina S.P.

日本式及ブラジル式  
 墓碑 記念碑  
 胸像 石燈籠  
 石材彫刻一切  
 古い墓の修理も致します  
 アタマンチナ市リオブランコ大通り  
 大西文志 邦函二一三五番  
 電話五一五番

### 旧式恋愛術

「半年後にもう一度会って、それでも好きなら一緒にしろ」と言っただけで、ハハ、そのうがちようどその日なんて彼女に「結婚しよう」と電話したんです。……フラシました、ハイ、飲み屋で。ワラリマンと大学生。  
 「キミは、いつも同じ服を着てるわ」「彼女がいないから、服装に気をつかう必要がないんですよ、良ければ童貞です」「むかし、制服の処女、っていう映画があったなあ。いまは、制服の童貞か」  
 生徒マイナス先生 五百円  
 関西の一

### 帰伯御挨拶

流私立大学の食堂で老先生。  
 「ちようど今入学試験なんで、監督をやっていますけど、又ゴイヤ、道順の受験生、ホテルにツインと部屋とって、母親と一緒に寝とまりでしょう。夜はステキな食って栄養つけて、昼はホテル特製の弁当持参ですよ。受験弁当とかで二百円。私は学校でくれる弁当ですけど、これが二百円、力が抜けて、採点の答案ががすんで見えませんよ、ほんとに！」

其後皆様御変りなく御健康で御暮しの事と存じます。  
 扱て、私共予定の如く二十五日の訪日旅行の行程を経て去る五月十七日午前十時ピラコッポス空港に不爭安着致しました。  
 留守中は色々とお世話様になった事と存じます。厚く御礼申し上げます。旅行中の出来事や失敗談も数々ありますが、紙上に余白がありませんので、何れ様願の節親しく話させて戴きます。  
 先ずは取り急ぎ安着の御報せまで、  
 ワウーテ区 海野 武男  
 キサノ  
 北谷 小波

**MACVETTI LTDA**  
 AGENTE EXCLUSIVO OLIVETTI  
 MAQUINAS DE ESCREVER, SOMAR E CALCULAR;  
 MANUAIS, ELETRICAS E ELETRONICAS.



OLIVETTI-ASSISTENCIA TECNICA ESPECIALIZADA -  
 PERMANENTE

Bastos - Rua 10 de Novembro Nº 551 Fone 388 C.P. 9  
 Tupã - Rua Caetés Nº 679 Fone 2528

電気計算機 計算機 タイプライタ フロッパー 一切  
 電気タイプライタ フォルミカ事務机 アルキーボ  
 コフレ (金庫) 等々

ATENDE BASTOS E REGIÃO 林 広 人

皆々様

バストス南米本願寺

謹呈  
 此の度び花まつり奉讃法要並びに演  
 芸会には実に多数御参詣御協力賜  
 わりまして誠にありがとうございます  
 を以って厚く御礼申し上げます。  
 つままして右行幸にけ沢山の御寄進  
 御供物懇志等御進納下さりまして、細  
 々御芳名紙上記載御礼甲上ぐるべき  
 と存じますが、相談の上次行幸迄細  
 々本堂に勝手乍ら記載御礼すること  
 に致しました。  
 何卒御了承賜わり度く存じます。  
 右御無礼乍ら厚く御礼申し上げます。  
 敬白

御 礼

Arquivo de Cine Bastos

六月三日(日) 九時半 四日(月) 八時  
 東映 任侠興亡史 **組長と代貸** 町田京介 沢村 忠 丹波 哲郎  
 天然色 この面活して二十年、何を今更かたぎなんかになりたくねえ、男一生ドスで飾った根っかうの、  
 六月五日(火) 六日(水) 両夜とも八時  
 東映 **新網走番外地** 高倉 健 松尾嘉代 三橋達也  
 然色 皮ジャン高倉と、くせ者三橋ノスゴ腕二人 網走りでぶっかった、  
 六月八日(金) 八時 九日(土) 九時半  
 東映 **恋にめざめる頃** 酒井和歌子 川上大輔  
 然色 よろこび、悩み、男と女の愛の世界をみつめる... 女性の一番美しい季節、  
 六月十日(日) 九時半 十一日(月) 八時  
 東映 おんな **女渡世人** 藤純子 木暮実千代  
 然色 純子の返り血を浴びる白い顔、伎に咲かす任侠に咲く渡世の仇花、妻恋お駒、  
 六月十二日(火) 十三日(水) 両夜とも八時  
 東映 **飛車角と吉良常** 鶴田浩二 高倉健  
 然色 総天(人生劇場) 二に揃ったガン首は、小金一家の看板、おっしは飛車角左に宮川、右に寺島、すっ、と後に親分の小金と一家の世話人の吉良常  
 六月十五日(金) 八時 十六日(土) 九時半  
 東映 **いろかの大將** 森繁久弥 藤岡琢也  
 然色 海軍艦をいれちゃいない、お堅い警部も手に余るやわらかい事件、笑をのせた湖風には、たたく志の軍艦旗、